

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 15日

回収率

100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 該当なし	ご意見	意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	0	・個別・学習・遊びのスペースでが分かれており、児童それぞれにが過ごせるようになっている。	・引き続き環境の整備を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	9	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	0	0	・年齢や特性に合わせて課題選びや実際の支援の際も提示の仕方を変えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	0	0	・毎日清掃と消毒をしている。	・衛生管理を継続します。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	0	1	・職員間で情報を共有する時間を作っている。	・定期ミーティングを行いながら継続的に支援の質の向上に取り組みます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	1	・公式LINEで保護者とやり取りをし、改善点を上げている	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	0	2	・将来的に外部評価の実施を行っていくよう検討する	・将来的に外部評価の実施を行うよう努めます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	0	2	・事例検討を事業所ごとに行い、より良い支援にするために話し合いをしている ・OJTによる研修を行っている	
適切な支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	0	0	・児童それぞれに合った支援をしている ・児童の様子から次の目標を継続なのかステップアップするのか話し合いながら作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	1	・NCプログラムを参考にしている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	0	0	・家族からの要望、児童の気持ちを考えながら支援の内容を考えている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	0	0	・毎朝ミーティングで共有し、より良い支援内容を考えている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	0	・職員みんなで共有しながら進めている ・その都度、児童に合わせて内容を考えるようにしている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	0	・都度話し合い、固定化しないように配慮している ・毎回違うものを取り入れるよう考えている ・外出先ができるだけ同じにならないようにしている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	1	0	0	・児童のニーズを考えながら進めている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	1	・常に共有し、支援内容見直しなど、みんなで考えて進めている ・特に注意点が有的时候は話し合いをしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	0	1	・毎日共有している。より良くするためにどうしたらよいか、詰めて話している ・決めた後の行動も振り返りしている ・支援の振り返りをしてる ・朝のミーティングで共有している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	0	・支援記録を読んだうえでミーティングに参加し、改善を考えて進めている ・支援記録を見て活動の振り返りをしている ・記録に残し、特に共有したいことは、朝礼時や支援後に伝えるようにしている	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	0	・必要に応じて変えている		
関係機関や 保護者との 連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	1		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1	0	1	・相談支援と連絡をとったり、関係機関等が支援を見に来ることがある ・公式LINEなどでやり取りをしている	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	0	9		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	0	9		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	0	2	・児発の場合は、共有支援は保護者との対応がほとんど。 ・保護者を通しては行っているが、直接のやりとりはない。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	0	2	・保護者を通しては行っているが、直接のやりとりはない。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	どちらとも いえ	いいえ	無回答 該当なし	ご意見	意見を踏まえた 対応
関係機関 や保護者 との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	0	3		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5	0	1		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5	0	2		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	0	・その日の支援の様子をフィードバックするようにしている	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	5	0	1		
保護者 への説明 責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0	0		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	0	1	・将来的には保護者交流会などを、開催していきたい	・イベント等を開催し、保護者間の交流ができるような企画を検討していきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	0	・職員で相談し、どのような対応をするか考えている	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	0	・メールやインスタグラムの活用 ・Instagramを活用して発信している ・SNS(Instagram)にて日々の様子を発信している	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	0	0	・鍵付き書庫で配置	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	0	・支援後に保護者に支援内容を共有している ・児童に合ったコミュニケーションの仕方を工夫している	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	0	2		
非常 時等 の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	0	0	・よく見る場所(玄関先)への提示	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	0		
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	0	1		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	0	2	・アレルギーの児童は本人と確認し、配慮している	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	2		
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	2		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	0	2		

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 15日

回収率

100%

1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 該当なし	意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	3	0	0	・定められた人数の配置ではあるが、場合によっては不足と感ずることあり。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	0	0	・必要があればその都度準備している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	0	1		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	1		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	1	1	・今後の改善目標。	・第三者の外部評価の実施を検討していく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	0	2			
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	0	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	0	・職員で話し合い決めている。	・スタッフ共有をしながら、支援の質向上のための取り組みを継続して行う。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	0	・外出先ができるだけかぶらないようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0	0	・長期休暇や祝日、半日の日など前もって予定をたて、活動している。 ・長期休みの時はいつもとは違う外出先に行っている。 ・公園や児童館に出掛ける計画をし、実行している。 ・長期休暇には外活動を積極的に取り入れている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	1	・毎朝必ずミーティングをしている。何かあればすぐに報告している。 ・職員で打合せしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	1	・気づいた点は打合せしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	0		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1	0	2			
関係機 関や保 護者 との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	2		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0	0	・毎週、学校や保護者、本人達から予定を確認している。変更があると都度連絡をもらっている。 ・不明点があれば、連絡をとったりしている。	・保護者の方からの意見を真摯に受け止め、可能な限りの環境整備を検討していくよう務める。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	0	9		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	1	2		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	1	3	・実際にいない	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2	2			
関係機 関や保 護者 との 連 携	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	3	1	・様々な児童と関わる機会を作っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	2		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	0	・個別では必ず支援後にフィードバックを行っている。集団支援の児童に対しては適宜保護者に報告を行っている。 ・状況により、電話やメール等により細かく連絡をして共通理解を図っている。	

連携	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	3	2		
----	----	---	---	---	---	---	--	--

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 該当なし	意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	3	1	・将来的に開催していきたい。	・イベントなどの企画と通じて、保護者の方の交流の場を開けるよう、検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	1		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	0	0	・メールやインスタグラムの活用。 ・SNS(インスタグラム)にて発信。	・随時活動の様子を個人情報保護を踏まえた上で公開していく。
	35 個人情報に十分注意している	9	0	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	0	・視覚化することで情報の周知、取得化を推進している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	1	2		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	0		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	1		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	0	1		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	3	・該当者なし。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	1		

○この「放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

# 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年 3月 15日

回収率

100%

事業所名 あおい西草深

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	2	・個別以外のこともこれから経験していくと思うので、交流で色々と広がればいいと思います。	・保育園等と連携をとりながらお子様の支援を行けるよう、取り組んで参ります。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2	0		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	2	0	・毎回生成と話す時間を作ってくれているのでその時の様子もわかり安心します。	・今後も保護者の方とコミュニケーションをとりながらお子様の支援に取り組んで参ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	2		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	1	1		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	1	1		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2	0		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0	1	・訓練に参加できる機会があれば、安心すると思います。	・個別支援の中で防災に関する知識など楽しんで理解できるプログラムも検討していきたいと思います。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	2	0	以前はトビラを開くと動かなかったり、泣き始めることもあったが、今はそういう事もなく楽しく通えていると思います。	
	23 事業所の支援に満足している	2	0	・個人の特徴を理解した上で、本人があきないように工夫して行ってくれていると感じています。	・今後もお子さんの特性に沿った子個別支援を充実して行えるよう、プログラムの検討をしていきます。

# 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 15日  
事業所名 あおい西草深

回収率  
71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1	0	0	・常に整理整頓されたスペースで子どもたちが動きまわっている。 ・いつも玄関先で見るだけなので、少し参観してみたいと思います。 ・とても広くて、色々な療育をしていただけるので有難いです。 ・広々としてとても過ごしやすい。 ・直接見ていないので分かりかねます。	・引き続き、環境整備に力を入れて活動に取り組んでまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	0	・いつも気を使って頂いたりアドバイスをたくさん頂いたりで感謝しています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2	0	0	・中まで入る事があまりなく、分かりかねます。	・保護者の方々にご自由に内覧していただけるよう、声掛けを行ってまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	0	0	0	・助かっています。ありがとうございます。 ・全てこちらのわがままを受け入れて支援に対して工夫を頂いています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	2	0	0	・個人の好きなもの、得意なことを取り組んだプログラムになっている。 ・子どももあおい西草深さんでの活動を毎日楽しみにしています。 ・長期休みの計画がかなり工夫されていて楽しく通わせてもらっています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	9	2	0	・把握していないだけかもしれません。	・今後の検討課題としていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	0	0	0	・こま目に連絡を入れてくれる。 ・学校での様子も相談に乗って下さって感謝です。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	4	1	・交流会があれば参加してみたいです。なかなか都合が難しいのですが…。	・今後の検討課題としていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3	1	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	5	0	0		
14 個人情報に十分注意しているか	17	0	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	0	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	7	0	0		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	0	2	・新しいお友達もできて良い居場所です。	・今後もそれぞれのお子様の目標に対応できるよう、支援内容、プログラムの充実を図って参ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	1	0	2	・大変満足!!	